

## 駐車場有料化の経緯について

# 駐車場有料化の経緯について

## 1 長時間駐車(夜間駐車含む)の現状

平成22年8月13日から8月16日の4日間で現空港駐車場における利用状況調査を行った。

- ①時間外駐車は73台であり、空港駐車場317台の約23%となっていた。
- ②夜間駐車は65台であり、空港駐車場317台の約20%となっていた。
- ③夜間駐車は週末の金曜日、土曜日に多く発生していた。
- ④連泊車両では1泊車両が多かった。

→慢性的に長時間駐車が多い状況となっている。

## 2 利用者アンケートの実施

平成22年8月13日から8月16日の4日間で空港利用者及び施設利用者を対象としたアンケート調査を行い、499件の回答が得られた。そのうち市内が473件で、94.8%であった。

### 1) 空港移転に伴う交通手段の変化について

- ①現空港への交通手段は自家用車等の利用が54.5%となっていた。
- ②新空港への交通手段は自家用車等の利用が66.1%となっていた。

→郊外への空港移転に伴い自家用車等の利用が増えることで長時間駐車が増加することが懸念される。

### 2) 有料駐車場について

- ①有料化された場合でも駐車場を利用する方は約6割であった。
- ②公共有料駐車場の料金設定について、約7割の方が妥当な料金と考えていた。

→利用者は有料化に理解を示している。

## 3 事業者アンケートの実施

空港内事業者及び石垣市観光協会加盟事業者を対象にFAXアンケート調査を行い、71事業者のうち32事業者より回答が得られた。

- ①空港内事業者は、27事業者のうち17事業者が回答し、無料化意見が約6割であった。
- ②レンタカー事業者は、29事業者のうち8事業者が回答し、有料化意見が5割であった。
- ③タクシー事業者は、9事業者のうち4事業者が回答し、有料化意見が10割であった。
- ④バス事業者は、3事業者のうち1事業者が回答し、特に意見無しであった。
- ⑤海運事業者は、3事業者のうち2事業者が回答し、無料化意見が10割であった。

→事業者は有料化について、賛成意見と反対意見が半々である。

## 4 地元懇話会の開催

新石垣空港駐車場の適正な管理・運営について、3市町及び関係団体等の意見を伺った上で方針を決定することを目的として、平成23年7月～11月にかけて地元懇話会を3回開催する。

- 平成23年7月27日 第1回懇話会 駐車場計画、利用状況調査、アンケート結果説明
- 平成23年9月14日 第2回懇話会 懇話会委員の満場一致で有料化方針が決定
- 平成23年11月22日 第3回懇話会 駐車場を有料化するよう提言が出された。



### 【県の方針】

懇話会の提言を受け、長時間駐車を未然に防止し、新空港駐車場の適正な管理・運営を図るため、平成25年3月の新空港の供用開始と併せて駐車場の有料化を実施する。

## 「新石垣空港駐車場の管理・運営方針に関する懇話会」の確認事項

「新石垣空港駐車場の管理・運営方針に関する懇話会」としては、懇話会での意見交換等の結果を踏まえて、以下のとおり確認する。

1. 現空港の無料駐車場における時間外利用の割合は駐車場規模の約2割となっている。また、郊外への空港移転に伴い自家用車等の利用が増えることで長時間駐車が増加し、駐車場利用に支障が生じることが懸念される。
2. 長時間駐車の問題を抱えていた宮古空港では、駐車場を有料化したことで、長時間駐車が減少し、有料化の効果が発現している。
3. このような状況に鑑み、本懇話会では新石垣空港駐車場の適正な管理を図るためには、新空港の供用開始と併せて駐車場を有料化することが必要と考える。

以上のことから、新石垣空港駐車場の適正な管理を図るため、新空港の供用開始と併せて駐車場を有料化するよう提言します。

平成23年11月22日

新石垣空港駐車場の管理・運営方針に関する懇話会  
座長 石垣市副市長 漢那 政弘